



音まち千住の縁 🔀 東京アートポイント計画



•

((-))h

me him

10月開催企画

アートアクセスあだち

· · · (•)) > >

音まち千住の縁

10/19 (sat.) 大巻伸嗣 Memorial Rebirth 遠藤賢司、遠藤一郎 ほか 千住ミュージックホール 11/15 (fri.)

音まち新規企画

まちなか交流事業

10/12 (sat.) -12/8(sun.)

毛利悠子 ほか 未来楽器図書館 [10/11(fri.)内覧会] イミグレーション・ミュージアム・東京 不思議な出会い 2014 2/15 (sat.) -3/9(sun.)

11/3 (sun.) 大友良英 千住フライングオーケストラ

中崎透 (Nadegata Instant Party) ほか 音まちトーク のらづくりプロジェクト 11/30 (sat.)

11/10 (sun.) 野村誠 千住だじゃれ音楽祭

>> 平成 25 年度 秋·冬事業案内 << 10月4日 発行

▲ 足立区



incom life.

ا:اق

アートアクセスあだち

音まち千住の縁

古くは日光街道最初の宿場町として江戸期より栄え、高度成長期には東東京のターミナルとして各線が開通、現在も5つの路線が乗り入れる足立区の最重要拠点として機能する、千住地域。隅田川と荒川に挟まれた島のような地形をもつがゆえ、独特の栄枯盛衰の歴史を長い時間をかけて辿ってきたこの土地で、目に見えない、触れることのできない「音」を通じて、あらためて今、人の「縁」を見つめ直したい。そんな、世界的にも類を見ないプロジェクトが今年で3年度目を迎えます。

昨年度、足立区制80周年記念事業として展開した6週間のメイン会期中には、合計1万人を超える方々にご来場いただいた、本プロジェクト。3年度目となる今年も、千住のあらゆる場所でコンサートやパフォーマンス、トークイベントを展開します。音まちがつくりあげる場は、従来型のコンサートやイベントとは一風異なり、どれも「祭り」と呼べるようなものへ発展してきています。地元の方だけでなく、日本中の音楽好きが集って自由に参加できる場を目指して、「音」を用いてありとあらゆる手段で今年も多様な「縁」を育んでいきたいと思います。[音まち千住の縁ディレクター清宮陵一]

音まち千住の縁とは

「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」(通称「音まち」) は、平成24年度の足立区制80周年記念事業をきっかけとして、足立区にアートをもちいた新たなコミュニケーション(縁)のつながりを生み出すために、足立区・東京都・東京文化発信プロジェクト室・東京藝術大学音楽学部・NPO法人やるネの連携のもと展開している市民参加型の「まちなかアートプロジェクト」です。

本プロジェクトは平成23年9月より本格的に活動を開始しました。足立区千住地域を舞台に、大友良英・大巻伸嗣・野村誠ら、全国各地でのアートプロジェクト経験のあるアーティストが中心となって、まちなかの担い手とともに「音」をテーマとしたプログラムを展開しています。

東京アートポイント計画とは

東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを目指し、「東京文化発信プロジェクト」の一環として東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開している事業です。 www.bh-project.jp

未来楽器図書館

アーティスト 毛利悠子、江川次彦 + 小日山拓也、 木本圭祐

> 日付 10月12日[±] — 12月8日[日] [会期中土日祝のみ開場]

時間 13時 - 19時

場所 音う風屋(おとうふや)



Memorial Rebirth 千住 2013 常東

アーティスト 大巻伸嗣

日付 10月19日[±]

時間 16 時 - / 19 時 - (各回30分前開場) ※各回30分程度



千住ミュージックホール 第1回

Knock 「純★音楽会 |

アーティスト 遠藤賢司、遠藤一郎ほか

日付 11月15日[金]

時間 20時 (19時30分開場)

_{場所} ライブハウス 「Knock」 北千住



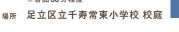
音まちトーク のらづくりプロジェクト 第2回 テーマ 「持ち込む」

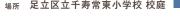
アーティスト 中崎透、遠田節

日付 11月30日[土]

時間 12時30分-14時30分[予定]

場所 タカラ湯 [地図は11ページに掲載]







千住フライングオーケストラの 公開リハーサル

アーティスト 大友良英

日付 11月3日[日・祝]

時間 13時 (12時30分開場)

場所 〈トーク〉

東京藝術大学 千住キャンパス

第7ホール

〈デモンストレーション〉

東京都中央卸売市場 足立市場 ※千住キャンパスから移動



後日詳細発表

イミグレーション・ ミュージアム・東京 不思議な出会い

日付 2月15日[土] - 3月9日[日]

場所 音う風屋(おとうふや)



千住フライングオーケストラ メインイベント

アーティスト 大友良英ほか

日付 3月21日 [金·祝]

場所 東京都中央卸売市場 足立市場



11/10

千住だじゃれ音楽祭 レクチャー&コンサート 「メメットを藝大に歓迎だい!」

アーティスト 野村誠、

メメット・チャイルル・スラマットほか

日付 11月10日[日]

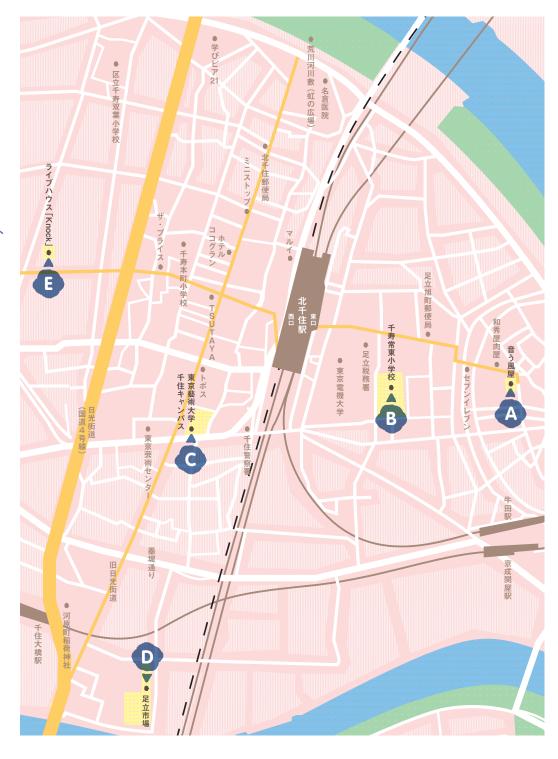
時間 17時30分(17時開場)

場所 東京藝術大学 千住キャンパス スタジオA



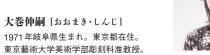
※上記以外にも、企画開催を予定しています。





踊りで 心がひとつになる。 今年は、夜も

大巻伸嗣(現代美術家)の「Memorial Rebirth」(通 称:メモリバ)は、無数のシャボン玉によって、見慣れ たまちの景色を、一瞬にして光の風景へと変貌させる アートパフォーマンス作品です。シャボン玉と盆踊り を融合させた昨年の「しゃボンおどり」に、今年は新た にまちの記憶を織り込んだ歌詞を加えます。まちで 育った人、このまちに魅せられて暮らす人、このまち で学ぶ人……、さまざまな視点から語られる千住への 想いを、『Memorial Rebirth』の企画・運営を支える 有志ボランティア"大巻チーム"が、自分たちの足でま ちを歩いて集めました。全ての人の記憶をのせて、誰 もが気軽に口ずさむことのできるあたたかい歌が、い ま牛まれます。



「トーキョーワンダーウォール2000」に『Opened Eyes Closed Eyes』 で入選以来、『ECHO』(資生堂ギャラリー、東京画廊、岡本太郎美術 館)、『Liminal Air』(トーキョーワンダーサイト、GALLERY A⁴、アジ アパシフィックトリエンナーレ) など、展示空間を非日常的な世界 に生まれ変わらせ、鑑賞者の身体的な感覚を呼び覚ます、ダイナミ ックなインスタレーション作品を発表している。



Memorial Rebirth 千住 2013 常東



程: 平成25年10月19日[土]

16 時 - / 19 時 - (各回30分前開場) ※各回30分程度/雨天決行・荒天時は中止

会 場:足立区立千寿常東小学校 校庭 「足立区千住旭町10-31]

アクセス: 北千住駅 (東口) から徒歩約5分 [JR常磐線/東京メトロ千代田線・目比谷線/ 東武スカイツリーライン/つくばエクスプレス]

料 金:無料

中止の場合は10月19日(土)当日

音まち公式ウェブサイト (http://aaa-senju.com)にて告知

千人の参加者と 校庭一面に映し出される "私の千住"

千住で3回目の開催となる今年は、千寿常東小学校を舞台に、初めて夜にも開催します。暗闇に浮かぶシャボン玉を照らし出すのは、校庭一面に投影される、"私の千住"をテーマに制作した映像。事前に映像の素材を集めるワークショップを開催し、参加者とともに千住のまちを歩きながら撮影した写真を、ひとつのスライドショーにまとめあげ、大型プロジェクターで校庭と校舎に映し出します。子どもから大人まで幅広い世代が撮影した個性溢れる写真が、『Memorial Rebirth』初の試みを彩ります。



2012年11月24日開催 大巻伸嗣「Memorial Rebirth 2012 千住本町」

「Memorial Rebirth 千住」の歩み

平成24年3月の初開催は、いろは通り。商店街のみなさまに受け入れていただきました。同年11月には、千寿本町小学校の校庭で「しゃボンおどり」を導入し、練習を重ねることで、児童たちと地元の盆踊りの先生の世代間交流を試みました。3回目となる今年は、「しゃボンおどり」の歌に地元のみなさまから集めた言葉で歌詞をつけ、まちの人が撮影した写真映像も作成します。この作品を契機に、さまざまな世代の人との新しい「縁」を創出し、育んでいくことを目指しています。



2012年3月17日開催 大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住いろは通り」



『未来楽器図書館』(会場となる音う風屋にて撮影、2013年) 撮影:大塚歩

触ってつくって 楽しめる 「未来の楽器」!

「音まち千住の縁」のまちなか活動拠点である、 元豆腐店だった「音う風屋」。50年以上前に建て られた風情のある2階建ての一軒家が、会期中丸 ごと「楽器」になります。2ヶ月の間に徐々につ くりあげられていく、まだ世界のどこにも存在し ない「未来楽器」。その楽器をつくっていくのは4 名の作家と、この「音う風屋」に訪れる人々です。 日々訪れる人々と創作を続けていく中で、会期の はじまりと終わりではまったく違った「音う風 屋」になっていることでしょう。

未来楽器図書館

日 程:平成25年10月12日[±]-12月8日[日] 13時-19時[会期中土日祝のみ開場]

会 場:音う風屋(おとうふや) [足立区柳原2-20-9]

アクセス:北千住駅(東口)から徒歩約10分

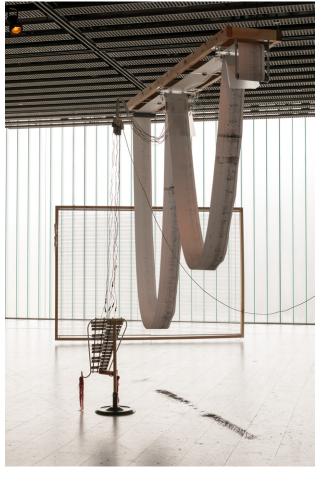
料 金:無料

出展作家:毛利悠子、江川次彦 + 小日山拓也、

木本圭祐

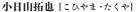






毛利悠子 [もうり・ゆうこ]

1980年神奈川県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修了。日用品やジャンクと機械部品を再構成した立体物を展示環境に寄り添わせることで、磁力や重力、光、温度など、目に見えない力をセンシングするインスタレーション作品を制作している。

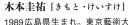


1973 年東京都生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修了。 New Jazz Syndicate 、Secret Colors 、magro、音まち千住の 縁、Picnic trio で活動。大友良英も参加する障害者を中心とし た即興演奏グループ [音遊びの会] に創作楽器提供。



江川次彦 [えがわ・つぐひこ]

1970年東京都生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修了。 絵画、インスタレーション、写真、音楽を作品姿勢とし、ゆっ くりと展開する。主な個展に『2ケ、または3ケ』(2006年、 三渓園 旧燈明寺本堂/日本、神奈川)など。



1989広島県生まれ。東京藝術大学大学院音楽研究科在籍。自 作楽器を用いたパフォーマンス、エレクトリックベース等の演奏 を行っている。主な公演歴に、NIME2013 (KAIST/韓国)、 Yamaguchi Mini Maker Faire (YCAM/日本、山口)など。





展示予定作品について

毛利悠子

耳をすましてみてください。随所に仕掛けられた 小さなモーターの振動によって、音う風屋が音を 奏ではじめます。家の柱や窓、机やお鍋もすべて が楽器となります。また、モーターは貸出可能で す。あなたのお家の楽器を探してみてください。

江川次彦+小日山拓也

段ボール、紙管、和紙、クラフト紙……あらゆる「紙」から、今まで見たことのないようなさまざまな楽器がうまれます。昨年度「風呂楽器」で好評を博した小日山拓也と美術家であり音楽家の江川次彦による「楽器自作バトル」。あなたも共同制作者となり、バトルに参戦してみては!?

木本圭祐

電磁誘導によって弦を強制的に振動させ、生音でありながらも永続的な発音を可能にした弦楽器《Drome》と、その機構を使用した、来場者の手で千住の地図上に重ねられる「未来」によって変化し完成していく楽器を展示します。

大友良英

千住フライングオーケストラの 公開リハーサル

新楽団員募集! これまでとこれからを語るキックオフフォーラム



2012年10月27日開催 大友良英「千住フライングオーケストラ」 撮影: 高島圭史

大友良英 [おおとも・よしひで]

1959年生まれ。即興演奏家として世界各地で活動。また映画や、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」の音楽等、数多くの映像作品の音楽を手がけ、その数は70作品を超える。近年は「アンサンブルズ」の名のもとさまざまな人たちとのコラボレーションを軸に展開する音楽作品や特殊形態のコンサートを手がけると同時に、障がいのある子どもたちとの音楽ワークショップにも力を入れている。2011年3月の震災を受け、自らが暮らした福島において、文化の側から支援を目指す「プロジェクト FUKUSHIMA!」を主催。平成23年度、芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門受賞。



【公開リハーサルのお申し込み】

[WEBフォーム] http://aaa-senju.com/contact [お電話] 03-6806-1740 (13-18時、火曜・木曜除く) [メール] info@aaa-senju.com

件名を「千住フライングオーケストラの公開リハーサル参加希望」とし、代表者氏名(ふりがな)、ご連絡先(電話番号・メールアドレス)、参加希望人数をお伝えください。

※「info@aaa-senju.com」からのメールを 受信できるように設定してください。

※個人情報は厳重に管理し、本事業の運営およびご案内にのみ使用します。

"市場"の空から降る音とは?

「千住フライングオーケストラ」は、音楽家大友良英が中心となって足立区千住地域にて展開しているプロジェクトです。公募で集まった「チーム・アンサンブルズ」のメンバーとともに、"空から音が降り注ぐ演奏会"を目指し、平成 23 年より活動を開始しました。「音の出る凧」や「音の出る提灯」などを開発し、さまざまなアプローチを試みています。また、プロジェクト FUKUSHIMA! (福島)、六本木アートナイト 2013 (六本木)、アンサンブルズ・パレード/すみだ川音楽解放区 (浅草) など、各地で活動を行っています。

活動開始から3年目にあたる平成26年3月21日(金・祝)に、東京都中央卸売市場 足立市場にて、これまでの集大成的なメインイベントを実施します。この「千住フライングオーケストラの公開リハーサル」は、それに向けたプレイベントです。東京藝術大学にて、これまでの活動を振り返りつつ、千住フライングオーケストラの新たな構想を大友良英が発表。その後、実際に足立市場へ行き、音の出る凧や提灯のデモンストレーションを行います。当日は来場者のみなさまと一緒に、"空からの音"について考える時間をご用意しております。あなたが思い描く"空からの音"について、大友良英とチーム・アンサンブルズにお話ししてみませんか? 千住フライングオーケストラは、新しい風を待ち望んでいます。

【千住フライングオーケストラの公開リハーサル】

日 程: 平成25年11月3日[日·祝] 13時 (12時30分開場)

会場:〈トーク〉東京藝術大学 千住キャンパス 第7ホール [足立区千住1-25-1] 〈デモンストレーション〉東京都中央銀売市場 足立市場 ※千住キャンパスから移動

アクセス: 〈東京藝術大学 千住キャンパス〉 北千住駅 (西口)から徒歩5分

料 金:無料(要申込・先着50名)

出 演:大友良英

後日詳細発表

【メインイベント】

日 程:平成26年3月21日[金·祝]

会 場:東京都中央卸売市場 足立市場 [足立区千住橋戸町50]

アクセス:北千住駅(西口)から徒歩約15分

千住大橋駅から徒歩3分 [京成線]

出 演:大友良英ほか

2014 3/21 (fri.)

だじゃれ×インドネシア語×ガムラン!?

「頑張る」「あらま」「アカン」「イカン」「オタク」……これらの日本語には、 共通点があります。実は、これらの言葉、インドネシア語ではまったく別の意味を持っているのです。3月に第一回定期演奏会を開催し、大盛況に大団縁を迎えた千住だじゃれ音楽祭。この秋からは、ガラリと趣向を変えてお送りします!日本語と日本語に似ていると言われるインドネシア語との関係を深く探り、だじゃれの作法や技法を今一度見つめ直し、ガムランや邦楽の要素を取り入れながら「だじゃれ音楽」をさらにさらに前進させます。日本とインドネシアの言語や音楽が飛び交う新たな「だじゃれ音楽」の形を、ぜひ体感してください!

インドネシア国立芸術大学ジョグジャカルタ校で作曲を教えるメメット・チャイルル・スラマットは、非常にユニークな作曲家/即興演奏家です。インドネシアのさまざまな民族楽器を集めた自身のグループ「Gangsadewa」の名前は、実はだじゃれなのです。インドネシアの最多出演者記録である1,700人での演奏を作曲・指揮したこともあります。だじゃれを愛し、1,700人の音楽を経験済みのメメットとあらば、「千住で1,010人の音楽会」が実現できるかもしれません。今回は、それに向けてのキックオフ・イベント。メメットさんを千住にお招きし、彼のユニークな音楽を体験します。また、インドネシアのガムランで「だじゃれ音楽」に挑みます。「野村誠



野村誠「のむら・まこと」

作曲家。1996年、ガムランと児童合唱のための「踊れ!ベートーヴェン」を作曲し、インドネシア4都市で初演以来、フランス、イギリス、オーストリア、日本、インドネシアで、ガムランによる創作のワークショップを展開。2002年にインドネシア国立芸術大学ジョグジャカルタ校大学院にて、作曲の客員教授を務め、08年にはガムランシアター「林太郎」をインドネシア3都市で上演。11年に、ジョグジャカルタで日本の震災のためのイベントを開催以降も、数々のコラボレーションを行う。13年は、ガムランのための新作がロンドンで初演された。また、インドネシアに2ヶ月滞在し、原発をテーマに現地の作曲家と共同作曲を行った。



メメット・チャイルル・スラマット

作曲家/フルート・オカリナ・スリン (インドネシアやフィリピンで使用されている竹製の笛)。

インドネシア出身・在住。インドネシア国立芸術大学講師。民族楽器バンド「ガンサデワ | Gangsadewa」主 宰。主な公演歴に、シドニー・オペラハウスやメルボルン・アートセンター (2010) でのパフォーマンスなどがある。



2011年4月 『地球の日』ジョグジャカルタでの野外パフォーマンス

野村誠 千住だじゃれ音楽祭

レクチャー&コンサート

「メメットを藝大に歓迎だい!|

日 程: 平成25年11月10日[日] 17時30分(17時開場)

会 場:東京藝術大学 千住キャンパス スタジオ A [お電話]03-6806-1740 (13-18時、火曜・木曜除く)

[足立区千住1-25-1]

アクセス:北千住駅(西口)から徒歩約5分

料 金:無料(要申込・先着100名)

出 演:野村誠、メメット・チャイルル・ スラマット、だじゃれ音楽研究会ほか

【お申し込み】

[WEB 7 \pm - Δ] http://aaa-senju.com/contact

[メール] info@aaa-senju.com

件名を「レクチャー &コンサート『メメットを藝大に歓迎だい!』参加希望」とし、代表者氏名(ふりがな)、ご連絡先(電話番号・メールアドレス)、参加希望人数をお伝えください。

※「info@aaa-senju.com」からのメールを

受信できるように設定してください。

※個人情報は厳重に管理し、本事業の運営およびご案内にのみ使用します。

9/13 音まち新規企画



千住ミュージックホール 第1回 Knock「純★音楽会」

遠藤賢司 [えんどう・けんじ]

1947年茨城県生まれ。元祖・純音楽家。"ギター 1本で総ての音を表現する"を信条にギターと対峙する奏法は、時に"琵琶奏法"などと言われるほどの独特の響きを持っている。1969年にシングル「ほんとだよ/猫が眠ってる」でデビュー。1972年、三島由紀夫の割腹自殺の日のことを歌った「カレーライス」が大ヒット。2003年には、エンケン&カレーライスで「FUJI ROCK FESTIVAL」、07年には、遠藤賢司バンドで「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」、09年には、エンケン&カレーライスで「ARABAKI ROCK FESTI に出演。

遠藤一郎 [えんどう・いちろう]

1979年、静岡県生まれ。未来美術家、island JAPANプロデューサー、多摩川カジュアルデザイナー、DJ。車体に大きく「未来へ」と描かれた、各地で出会った人々がそのまわりに夢を書いていく「未来へ号」で車上生活をしながら全国各地を走り、「GO FOR FUTURE」のメッセージを発信し続ける。アートイベントで展示やパフォーマンスを行うほか、現在、凧あげプロジェクト「未来龍大空凧」を各地で開催。2012年から、日本列島にメッセージを描くプロジェクト「RAINBOW JAPAN」を立ち上げ、日本列島を縦断。日本全体を勇気づけるメッセージを描く。

チャーリー・ウイリアムス [チャーリー高橋・徳久ウィリアムのDUOユニット]

チャーリー高橋「チャーリー・たかはし」

1955年北海道生まれ。70年代後半頃の大学在学中から札幌にて サックスを吹き始めブルースバンド、フォークシンガーのバック、ロックバンドなどで演奏。80年代半ばから作詞・作曲、ギター伴奏を始め、91年にソニーレコードから「SACRA:ついのすみか」で CDデビュー。93年に上京し、これまでに野村誠(鍵盤ハーモニカ)、桜井真樹子(天台声明)、日原史絵(箏)、三枝彩子(モンゴル歌唱)他、多くのミュージシャン、アーティストと活発に演奏活動をし、「うた」についての実験を行っている。

徳久ウィリアム [とくひさ・ウィリアム]

ブラジル出身。声を使った音楽的表現で、ヒトのココロと身体と、自然の原理・原則の体現を志向するボイスパフォーマー。モンゴルやトゥバの倍音唱法「ホーミー」「ホーメイ」、モンゴルのオルティンドー、イラン/ベルシャのタハリール唱法などの民族音楽的発声から、デスボイス、独自のノイズボイスまで、特殊発声を得意とする。声を通して、ヒトのココロと身体の原理/原則を体感し、未知の可能性を追求するレクチャー・ワークショップにも力を入れている。

数多くの地元ミュージシャンを育んできたライブハウス「Knock」北千住を舞台に、"ギター1本で総ての音を表現する"を信条にギターと対峙する遠藤賢司と、二人合わせて約100歳のDuoユニット「チャーリー・ウィリアムス」、気鋭の若手美術家・遠藤一郎の初公開となるバンドのライブ公演を開催いたします。

平成19年に還暦を迎えるも、その創作意欲はなおも燃え続ける純音楽家 遠藤賢司。雅楽、声明などの古謡や、中国、モンゴル民謡から、日本的なオリジナル曲まで、さまざまなタイプのウタをチャーリー高橋が作曲・編曲し、それを千の声を持つボイスパフォーマー徳久ウィリアムが歌う「チャーリー・ウィリアムス」。そして森美術館や水戸芸術館、六本木アートナイトなどで展示やパフォーマンスを行ってきた遠藤一郎が、ロックバンドを結成。初公開となるバンドスタイルのパフォーマンスを行います。

史上初の組み合わせにより開催される、北千住の「純★音楽会」。

千住ミュージックホールは、千住地域のあらゆる場所を舞台に、全4回開催のライブシリーズを行います。千住に根づく文化資源を活用し、地域の魅力を新たな視点から見直します。

日 程:平成25年11月15日[金] 20時(19時30分開場)

会 場: ライブハウス「Knock」北千住 「足立区千住中居町29-1 三泉ビル B1F]

アクセス:北千住駅 (西口) から徒歩約10分

料 金:3,000円(1ドリンク付、要申込)

出 演:遠藤賢司、遠藤一郎

チャーリー・ウィリアムス+川村亘平斎(影絵)

【お申し込み】

[WEBフォーム] http://aaa-senju.com/contact

[お電話] 03-6806-1740 (13-18時、火曜・木曜除く)

[メール] info@aaa-senju.com

件名を件名を「千住ミュージックホール 第1回」とし、代表 者氏名(ふりがな)、ご連絡先(電話番号・メールアドレス)、参加希望 人数をお伝えください。

※「info@aaa-senju.com」からのメールを受信できるように設定してください。 ※個人情報は厳重に管理し、本事業の運営およびご案内にのみ使用します。

イミグレーション・ミュージアム・東京

不思議な出会い

2013年3月3日(日) — 3月23日(土) イミグレーション・ミュージアム・東京『ニューカマーズ・ヴュー 2013』の展示風景

企画・監修:岩井成昭[いわい・しげあき]

美術家/イミグレーション・ミュージアム・主宰。1990年より国内および欧州、豪州、東南アジアの特定コミュニティの調査をもとに、映像、音響、テキストなどを複合的に使用した視覚表現を展開。近年はあらゆる世代を対象にしたワークショップや、多文化研究活動を並行して実施中。2010年から「イミグレーション・ミュージアム・東京」構想を進行している。



イミグレーション・ミュージアム・東京

市民が現代アートの手法を用いて、地域に居住する外国人との交流を通して、コミュニケーションの蓄積を作品としてアーカイブ化し、ミュージアムをつくることを目指している取り組み。美術家の岩井成昭が中心となり、独自のコンセプトで活動を続けている。http://www.immigration-museum-tokyo.org

2014 2/15 (sat.) -3/9(sun.)

「イミグレーション・ミュージアム・東京 (IMM)」は、日本に暮らす外国人の生活に根ざした異文化を、現代アートの手法を通して紹介・共有する活動です。平成 24 年度まで 3 年間、小金井市で展開されてきましたが、今年度より、音まちの新規プロジェクトの一環として「イミグレーション・ミュージアム・東京 不思議な出会い」と題し、足立区千住を舞台に展開します。今回のIMMプロジェクトでは、千住地域に縁のある市民を公募。それぞれが設定する独自のテーマやアイディアで、地域に暮らす外国人とコミュニケーションをとり、そのプロセスと成果を作品化していきます。

10月3日のキックオフミーティングで、「イミグレーション ミュージアム東京 不思議な出会い」は、その幕を開けます。公募により集った日本人と外国人が、これまで抱えていたお互いに対する好奇心や疑問を自由に交わしながら、作品制作の第一歩を踏み出します。外国人だからこそ気づく日本のあれこれや、少し不思議な生活習慣が、約4ヶ月かけてユニークな作品に生まれ変わり、その成果は平成26年2月中旬から音まちの活動拠点である音う風屋で公開されます。

外国人が語る

日本での色々な経験と疑問などを材料に、作品が生まれる不思議なプロセス。

後日詳細発表

日 程: 平成26年2月15日[±]-3月9日[日] (会期中土日のみ開場)

場: 音う風屋(おとうふや) [足立区千住柳原2-20-9]

アクセス: 北千住駅 (東口) から徒歩約10分

料 金:無料



2013年10月3日開催 IMMキックオフミーティング

(sat.) 音まちトーク 「のらづくりプロジェクト

11/30

ゲストとともに毎回さまざまなテーマで語り合う「音まちトーク」。本年 度は大きなテーマを「のらづくりプロジェクト(通称「のらプロ」)」と銘 打ちました。千住に暮らしながら地域と関わって活動をする団体や実践 者(「まちのひと」)と、各地でアートプロジェクトやまちとの協働を行う 専門家やアーティスト、つなぎ手たち(「のら」)を招き、まちを豊かにす るために、どのような場をつくることができるのか。そんな疑問を参加 者とともに語り合います。さまざまな立場からまちで活動する人びとに スポットを当て、新しい"まちづくり"ならぬ"のらづくり"を考えます。 第2回のテーマは「持ち込む」。まちに「出来事」を持ち込むことによっ て、参加者や地域住民との間にどのような関係性を築くことができるの か。美術家の中崎さんと、まちとアートのつなぎ手である遠田さんをお 招きし、風情溢れる日本庭園で有名な千住の銭湯タカラ湯で語ります。 ※トークの後はそのまま入浴もできます。

中崎透「なかざき・とおる」

1976年茨城県生まれ。美術家。現在、水戸市を拠点に国内 のさまざまな地で活動。展覧会多数。2006年末より 「Nadegata Instant Party (中崎透+山城大督+野田智子)」 を結成し、ユニットとしても活動。07年末より「遊戯室 (中崎透 + 遠藤水城)」を設立し、運営に携わる。11年より 「プロジェクト FUKUSHIMA!」のメンバーとしても活動。

遠田節 [おんだ・たかし]

足立区千住生まれ。

1984年足立区生涯学習振興公社の前身である足立区コミュ ニティ文化・スポーツ公社入社。1996年より足立区西新井 文化ホールで文化事業に携わる。2011年よりホールを離れ 地域に向けて文化事業を展開中。







2013年8月24日開催 第1回 音まちトーク 「のらづくりプロジェクト」

「キングオブ縁側 | タカラ湯で語る、



程: 平成25年11月30日[土] 12時30分-14時30分(予定)

[足立区千住元町27-1]

アクセス:北千住駅(西口)から徒歩約20分

千住桜木 (バス停)から徒歩約6分

都バス: 王45系統(王子駅行)、端44系統(駒込病院行)

東武バス:北1-5系統(西新井大師・西新井駅行)

金:1,000円(入浴券付、要申込)

※申し込み方法等、後日詳細発表

※同時開催の千住ヤッチャイ大学バトルフェスティバルにも

参加できます。

スピーカー:中崎透、遠田節

12/13 音まち千住の縁 関連事業紹介



千住ヤッチャイ大学とは

「千住ヤッチャイ大学」は、音まち*のサポーターチーム「ヤッチャイ隊」のメンバーが中心となり、音まち活動拠点「音う風屋(おとうふや)」を地域交流の場として活用するさまざまなイベントを企画し、自主的に運営していくプロジェクトです。ヤッチャイ隊の有志メンバーで「千住ヤッチャイ大学実行委員会」を立ち上げ、平成25年よりスタートしました。*r-トアクセスあだち音まち千住の縁の通称。

千住ヤッチャイ大学では、「音う風屋」を舞台に、地域の方々とともに、それぞれの趣味や関心事の知識を教え合います。主な活動内容はレクチャー、まち歩きツアーなど。また区内の保育園などで、手作り楽器の制作や演奏を行う出前ワークショップも行っています。専門的な知識をもった人を講師として迎えるのではなく、誰もが先生になれる場を作ることで、お互いの知識や経験をシェアし、「教える」と「教わる」を自由に行き来することができます。さまざまな講義を通して、千住のまちに新たな人のつながりをつくります。

千住ヤッチャイ大学 バトルフェスティバル

日 程: 平成25年11月30日[±] 12時30分-14時30分(予定)

会 場:タカラ湯[足立区千住元町27-1]

アクセス: 北千住駅 (西口) から徒歩約20分

千住桜木 (バス停)から徒歩約6分

都バス: 王45系統(王子駅行)、端44系統(駒込病院行)

東武バス:北1-5系統(西新井大師・西新井駅行)

料 金:1,000円[入浴券付、要申込]

※申し込み方法等、後日詳細発表

※同時開催の音まちトーク「のらづくりプロジェクト」にも参加できます。

内 容:本と音楽のプレゼンバトル2本立てで、6月の開催時も好評だった 「知的書評合戦ビブリオバトルvol.2」と、「音楽解説合戦ミュージッ クソムリエvol.1」を初開催いたします。

未来楽器演奏会 ~9人のコンダクター~

日 程:平成25年

10月13日[日]・20日[日]・27日[日] 11月4日[月・祝]・9日[土]・17日[日]・24日[日] 12月1日[日]・8日[日]

会 場:音う風屋[足立区柳原2-20-9]

アクセス:北千住駅(東口)から徒歩約10分

科 金:無料

内 容:未来楽器図書館の舞台となる音う風屋で、9週末毎回異なる コンダクター(指揮者)を迎えて即興演奏会を開催いたします。 コンダクターとその日、その場所、その空間に集まる人たち で作り上げる、予測不可能な音楽会です。

音まちボランティアサポーター 「ヤッチャイ隊」募集中

音まちの企画を一緒に盛り上げるサポーターチーム。かつて千住の青物市場で「ヤッチャ」という競りの掛け声が盛んに聞かれたことが名前の由来。メンバーは社会人層を中心に、10代—60代の世代の人々が、足立区内外を問わず集まっています!

アート好きに限らず、まちでの活動に興味のある人、 千住地域や足立区で面白いことをやりたい人など、 自主的な活動を行う人々が参加しています。

活動期間:平成25年10月-平成26年3月

対 象:高校生(16歳)以上

説 明 会:10月5日13時/18時- ※各回1時間

説明会会場:音う風屋 [足立区柳原2-20-9]

※詳しい募集内容はお問い合わせください。

プレス画像 使用について

広報用として、10点の図版がございます。 ご希望の際は必要事項(媒体名、御社名、発 行・放送予定日、ご担当者名、Eメールアドレ ス、ご住所、電話番号)をお知らせの上、下記 お問い合わせ先までお申し込みください。な お、その他の画像をご希望の場合は個別にお 問い合せください。

プレス画像の送付にあたり、利用者の個人情報を含む必要事項の提供へのご同意と、写真の使用に際し、以下の点へのご注意をお願いしております。

プレス画像の利用は、当該画像に係る企画または当事業に関する記事掲載の目的での利用に限ります。

プレス画像の掲載に際しては、所定のクレジットを記載してください。

本企画をご紹介いただく場合には、恐れ入り ますが情報確認のため校正、掲載誌等を下記 広報担当宛にお送りください。



大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住本町 2012」 撮影:大塚歩



2012年10月27日開催 大友良英「千住フライングオーケストラ」 撮影:高鳥圭史



2011年4月 『地球の日』 ジョグジャカルタでの野外パフォーマンス



『未来楽器図書館』(2013年) 撮影:大塚歩



造蕨堅司



遠藤一郎



チャーリー・ウイリアムス



イミグレーション・ミュージアム・東京 『ニューカマーズ・ヴュー 2013』



2013年8月24日開催 第1回 音まちトーク「のらづくりプロジェクト」



千住ヤッチャイ大学「出前ワークショップ」

本件に関するお問い合わせ

「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」事務局

広報担当:橋本瑛史 (03-6806-1740 / info@aaa-senju.com)

Mail: info@aaa-senju.com

Tel: 03-6806-1740[13時-18時(火曜、木曜除く)] 住所:〒120-0022 東京都足立区柳原 2-20-9 音う風屋